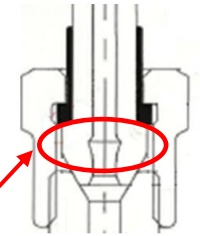
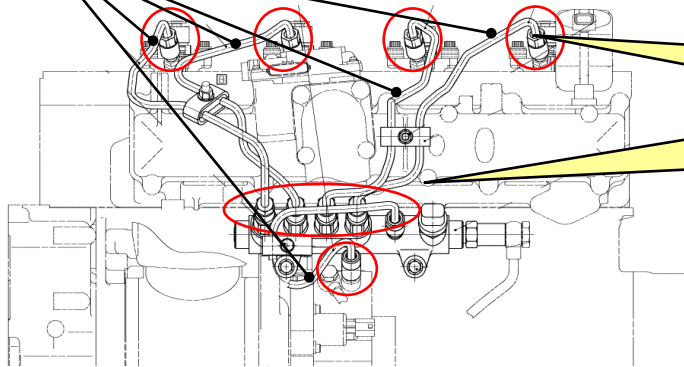


燃料パイプ



コネクタ部断面

**基準不適合発生箇所**

A矢視図

原動機において、燃料パイプ製造時に発生するコネクタ部内部のしわにばらつきがあり、また、パイプコネクタ部の締付トルクが低いものがある。このため、高い燃料圧力が加わることにより、当該しわ部を起点とした亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

**改善措置の内容**

全車両、燃料パイプからの燃料漏れ（にじみ、滴下含む。）の有無を点検し、漏れ（にじみ、滴下含む。）が確認された燃料パイプは高圧仕様のものに交換し、新規設定の締付トルクで締付ける。漏れ（にじみ、滴下含む。）がないものは、新規設定の締付トルクで締付ける。

注：□は、交換、または新規設定の締付トルクで締付ける部品を示す。

識別：作業完了車には、ラジエータ シュラウド上部に「LT111」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。